
日本初のフルフェアリング装備
XZ400D / XJ750D 新発売!



盛夏お見舞い申し上げます。



セールスカレンダー 8月

7/31 土	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火
-----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

観光の日

学制発布記念日

津軽ねぶた祭

広島・原爆記念日

仙台七夕

立秋

長崎・原爆記念日

終戦記念日／阿波踊り

京都大文字火

東京・亀戸天神祭

富士吉田火祭

819 DAY バイクデー キャンペーン

- 毎月8日は安全の日、定期点検の日
- 8日と19日はバイクデー ●8日～19日はバイク旬間

82 SLモトクロス全国大会 / 82 SLトリアル全国大会 / SUGGOサマーモ
トリング / SLカートサマーフェスティバル西日本大会 / 中山カートウェイ
RR ⑨イギリスGP / 125 cc MX ⑩スウェーデンGP
250 cc MX ⑩ソビエトGP / 500 cc MX ⑪ベルギーGP

RR ⑩スウェーデンGP / 500 cc MX ⑫ルクセンブルグGP
全日本RR ⑦筑波

RR ⑪フィンランドGP / 125 cc MX ⑫スペインGP

250 cc MX ⑪フィンランドGP

夏季セールの反省と秋商戦準備

全日本RR ⑧SUGO / RR ⑫チェコGP
250 cc MX ⑫スウェーデンGP

※ MX……モトクロス、RR……ロードレース、TR……トリアル



〈特集〉ビッグな夏のビッグなセール

4 夏商戦に成果を上げる販促活動実例集

先月の'82年夏キャンペーンのもり上がりぶりにつづいて、今月は販売店さん独自の販促活動のご紹介。

10 〈ユーザー対談〉
アメリカ5000キロVSオーストラリア8300キロ走破

タフネス・ヤマハを実証した男女ライダーによる当世海外ツーリング事情

13 ついに登場！日本初のフルフェアリングモデル
XZ400D/XJ750D

マニアの期待に応えて、ついに登場したフルフェアリング・モデル。しかもXJ750Dは、ヤマハの先進エレクトロニクス技術をフル投入した画期的なニューモデル……グラビアとカラーでその全容をご紹介



17 Country Road
Beautiful motorcycle World

好評の有名なライダー・エッセー、今月は心やさしきミュージシャン・マイク真木さんです。



セールスQ&A
販売店パソコン講座……その1

事務処理の合理化にコンピューターを……というお店がものすごく増えていきます。そんな方のために、今回からシリーズで、二輪販売店さんのためのパソコン講座をおおくりします。

20

〈フレンド店登場〉——新潟市

都市化の波が急ピッチでおしよせている“米どころ、新潟……”の中で若さあふれるご商売を展開される4店さんを訪問

22

〈パワーアップ・ヤマハ奥さま〉
“ヤマハ大阪奥さま会”発足

25

〈セフティ★コーナー〉マシンが風になる！
YRSサーキット・ランコース開講

26

ヤマハ★トピックス
●トピックス●情報スクランブル●モータースポーツ・ハイライト

28



SUGO インフォメーション

30

パーツ&アクセサリ
ヤマハ・ウェア '82年秋・冬ものご案内

31

特 集

ビッグな夏の

ビッグなセール

夏商戦に成果をあげる販促活動実例集



新商品の試乗会を兼ねた 楽しい安全運転教室の開催で 安全普及と需要の拡大を

静岡県袋井市国本／エルドラード（友田和夫社長）

スポーツランドSUGOで好評開催中のYRS（ヤマハライディングスクール）、さらに地域の自動車学校をベースに展開するミニYRS。お客さまへの安全運転指導の輪はシーズン最盛期を迎えます。盛り上がりを見せていますが、静岡県袋井市のエルドラードさんでもミニYRSの開催で、お客さまのバイクごころを触発。安全運転意識の普及とスポーツバイク需要の拡大に大きな成果をあげられています。

「これからの商売は単に『売った』だけでは生き残れません。それに加えて、スポーツクラブを育成し、その中で普及活動や安全指導を行なっていくかなければ……」と語る和田茂営業部長。もちろん、ミニYRSもこの活

「ビッグなセール」は、この時期だからこそ、
しつこく売れる面白競争の話にはあきら
まされど、この時期に、この機会をもちきり
この時期に、この機会をもちきり、この
ぞ、大地に押し流されることなく、この
創造活動や販促促進活動の展開で、一時
の波に押し流されることなく、この
この商売の拡大に取組むことこそ、この
この時期

動の一環として行なわれているもので、7月11日の袋井自動車学校には雨にもかかわらず25名のお客さまが集まりました。

「とにかく、バイクの楽しみ方を知らないお客さまが多い。どうやって遊んだらいいのかわからないから、暴走族なんて人たちが出るわけです。ですから、うちではまず楽しさの中で安全啓蒙を図ることに主力を置いていくんです」とは、今回のミニYRSの総指揮を務めた松浦靖雄専務取締役。180円の会費（保険料のみ）もさることながら、その充実した内容は受講者の間で大好評でした。

50ccから750ccまでのヤマハの新商品を勢揃いさせたミニYRSはまた、お客さまにとってはヤマハの新車を試乗するチャンスで



朝からの雨にたたられながらも女性8名を含む25名の受講者が駆けつけ、ミニYRSの人気の根強さを証明した



↑ベテランライダーもインストラクターの一員として参加するなど、お店とお客さまが丸となってイベントを盛り上げている（中央、立っているのが和田営業部長）

←店内のスポーツコーナーにも「エルドラードセフティライディングスクール」の自作ポスターを掲示して動員をおおる

→バイクを楽しみながら安全運転の訓練をすることの重要性を強調する松浦専務取締役



もあります。和田営業部長はさらにこのミニYRSの営業的な側面を、「見せて、触らせて、乗せて」はバイク販売の3原則ですが、ミニYRSはさらに「楽しませて」と「指導して」という要素加わる。数ある営業政策の中でも、これほど社会のニーズとお客さまのニーズと、そして販売する者とのニーズが合致した政策はないのではないのでしょうか」と語ってくれたのです。



↑やってきました大島へ。ツーリングは初めてというお客さまも多く、みんなルンルン

←イエスの販売店さんたちもお揃いのトレーナーで参加



ユニーク企画で

バイクの楽しさを普及する

販売店グループ「イエス」の活動に注目

ヤマハ・エンジンテリング・ショップ／東京・城南地区

「イエス」という名前の販売店さんグループが、この夏東京は城南地区のお客さまの間で話題を呼んでいます。

この「イエス」とは、ヤマハ東京(株)城南営業所管内の販売店12店さんが集まって結成した「ヤマハ・エンジンテリング・ショップ(YES)」のこと。そして、この「イエス」は、バイク専門誌「ミスター・バイク」誌などを通じての広告活動、ユニークなスポーツ活動、さら

に全店共通のサービシステム……など、グループパワーを存分に発揮して、単店の活動とはまたひと味違ったダイナミックなお客さまづくりを展開されているのです。

そんな「イエス」の初めての活動として盛大にくりひろげられたのが、6月26、27日の「第1回YES大島ミーティング」。50ccと80ccのミニバイクだけに限定したこのツーリングには、各店を通じて13名もの女性を含む87名のお客さまが参加。それも下は16才から上は62才まで。スポーツ車、トレッカー車はもちろんスクーターからメイトまでというにぎやかさ。

土曜日の夜からの出発、フェリー内での宿泊、大島でのツーリングとアトラクション……というスケジュールだけに、お店とお客さま、お客さま同士のコミュニケーションも最高。そんな中で「YES」の会長を務める大平輪業・山口玩一社長(東京・世田ヶ谷区)は、次のように語ってくださいました。

「これまでツーリングといえば、どうしてもビッグバイクばかり。50ccは行きたくても行けないということが多かったんですね。そこで50ccと80ccだけ、それもスポーツからスクーターまでどんなお客さまでも参加できるようにと、この大島ミーティングを企画したんです。YESとしては、こんな企画を打出して、バイクの楽しさを広め、ユーザーを増やしていくつもりで、いま第2弾を企画中なんです。もちろんビッグバイクだけのツーリ

赤と白のコントラストが鮮やかな店内も今はサリアンムードがいっぱいノ



サリアン会の発足めざした 観光バスツアー・キャンペーンで マーケットリーダーの育成をはかる

兵庫県神戸市東灘区／バイクショップNK(岸本信行社長)

「サリアン買ってデラックス2階建バスで1泊旅行に行こう!」という、とてつもないキャンペーンで大きな反響を呼んでいるのが、バイクショップNKさん。

〈デラックスご招待セール〉と銘付ったこのキャンペーンは、6月25日から7月10日までのボーナス時期に焦点を合わせて企画。サリアンを対象商品として設定し、顧客へのD



「いま、うちの主力商品はサリアン」と語る奥さま・美千代さん(右)もサリアンの販促にはことのほか積極的

↓7名の社員の平均年齢は22.5歳というヤングパワーを見事に生かし、アイデアに富んだ政策を次つぎと打出す岸本社長(左)



「ینگとか、林道ツーリングなども考えていますし、販売店側からだけの企画でなく、お客さまのアイデアや希望を大いにとり入れたらと思っています」

Mと商圏内への新聞折込チラシを通じて大々的に展開されたものです。

岸本社長は語ります、そのキャンペーンの狙いについて——

「今年4月にオープンしたばかりの店が、この競争世界の中で生き抜くためには柔軟な政策も必要ですが、時には大胆な企画もなくはないかと思う、今回あえて地域に話題を投げかけるビッグキャンペーンを展開したんです。

でも、だからといってこのキャンペーンをただの一次的なセールス・キャンペーンとして終わらせるつもりは毛頭ありません。このキャンペーンの本当の狙いは、サリアンの販促

以上に「サリアン会」の発足というかたちでお客さまの組織化に置いているから。そして、それらのお客さまをマーケットリーダーに育て、さらに大きな需要を見込んでいるんです」

こうした超ビッグサービス・キャンペーンも、マーケットリーダー育成の先行投資と考えれば安いもの——と語る岸本社長。20年間の四輪ディーラー&メンテナンスショップの実績がその自信を裏付けているともいえます。ですが、このキャンペーンに続いて、すでに新たな企画も用意。バイクショップNKさんの地域密着型キャンペーンの攻勢はいま、より確かな攻撃力のパワーアップというかたちで着々と成果を築いているのです。

マーケットリーダーを中心に お店の『レディスクラブ』結成めざして 『奥さまツーリング』を開催

札幌市西区／シーボックス札幌(加我 稔店長)

北海道のご商売は、7〜8月が最盛期。この時期に、冬場の需要創造活動の成果を少しでも多く刈り取っておかなければ、と短かい商戦の中で販売店さんは大忙しの毎日。そんな中で、一貫したお客さまの組織づくりを着々と進められているのが、シーボックス札幌さん。そして、その活動の中心となっているのが、『奥さまツーリング』です。

加我店長が語るユーザー組織づくりの構想は、こうです——

「昨年5月のオープン以来うちのお客さまは7割が50cc、それもスクータの女性需要がほとんどです。そこで、そんな女性層と店との強力なパイプづくりをいろいろと考えてい

るんですが、この夏から取組んでいるのが、『50ccバイク・スクーター奥様ツーリング』というわけです。

第一の目的は女性ユーザーの運転技術の向上。もちろん、このツーリングの回を重ねながらリーダー的なお客さまを育成し、その方がたを中心にやがては、うちの『レディスクラブ』としてしっかりとした組織につくりあげていきたいと思っています」

そして、この第1回のツーリングは7月18日に開催。朝9時半から午後3時まで、約26キロで札幌周辺を走りまわろうというもの。実施に先立ってお客さまに配布されたご案内の一端をご紹介すると、参加費用800円。



お客さまを交えて、初めての奥さまツーリングの話に花が咲くシーボックス札幌さん。左端が加我店長

当日はインストラクターも多数同行。また途中のトラブルに備えメカニックやトラックも同行します。さらに「子供さんの参加を希望される方はお気軽にお申出ください。主催者

の車にお乗せします。……といった細かな点にまで配慮が行き届いています。まさに北国の最盛期の商戦に新風を吹き込む、シーボックス札幌さんの『奥さまツーリング』です。



オフコンを駆使してDM作戦を展開する秋山信雄社長(右)と政則専務。もっか従業員さん全員が、オフコン操作の特訓中

オフコンをフル活用 毎月800枚のDM作戦で お客さまとのコミュニケーションを強化

東京都葛飾区 株式会社アキヤマ(秋山信雄社長)

オフ・コンとかマイ・コンとか、いわゆるコンピュータを導入されている販売店さんは、今やさほど珍しい存在ではありません。しかしこうした最新機器をフルに使いこなして、販促面に大きな成果を上げているお店となると、そうそう多くはないでしょう。「車種が増え、お客さまが多様化してくるこれからのユーザー管理にコンピュータは絶対欠かせない」といち早く導入に踏み切った(株)アキ

ヤマさんでは、現在6000名以上ものお客さまのデータがインプットされているというオフ・コンをフルに活用。いまや販促活動のメインともいえるDM作戦をダイナミックに展開中です。

「うちがコンピュータを導入したのは2年半ほど前。それまでは、お客さまの管理も台帳で行なっていたんです。ところが、お客さまの数が増えてくると、定期点検のご案内

などタイミングよくDMを打ちたくても、リストアップできないんですね、人間の力では忙しくなるとつい遅れたり、発送できなかったりしてしまつ。

そこでオフ・コンを導入したんですが、以来リストアップから、ラベリングまで機械まかせ、ほんとうに合理的になりましたね」

こうして(株)アキヤマさんでは、お客さまへバイクを納入すると同時に、必要なデータをすべてインプットしたそのお客さま専用の愛車カルテを作成。それをもとに「新商品紹介DM」、「お誕生日おめでとうDM」、「定期点検ご案内」の3種のDMを基本にしたDM作戦をつづけられています。

「売りっ放しではないんだ。自分のバイクのことをいつまでも気にかけてくれる店なんだというところでお客さまにも信頼していただけるようですね。いまでは平日でもひっきりなしにお客さまが定期点検に見えますが、これも明らかにDM作戦の効果でしょう」と語る秋山政則専務。

このコンピュータによる愛車管理は、専門誌やチラシなどの広告にも謳われ、いまやアキヤマさんのもうひとつの顔となっているほど。そんな広告の中にもり込まれた。値引きや用品サービスとはちがう、本当のサービスのアキヤマで、という言葉に、アキヤマさんの自信と、このDM作戦の成果のほどが象徴されているようです。



愛車カルテにもとづいてタイミングよく発送される「お誕生日おめでとうDM」と「定期点検ご案内」。

コンピュータにもとづくお客さまサービスは、広告やチラシでもPR



アメリカ5000キロ縦断VS オーストラリア8300キロ走破

帰国第一声が「わたしバイクが大好きになっちゃった」という田中さと子さんと、僕の本当の挑戦はこれから」とさらなる決意を語る播摩真一さん。このおふたりの、ともに昨年10月から今年1月にかけて、ヤマハのバイクで海外ツーリングを楽しまれた方がたです。

田中さんがメイトで北半球の大陸・アメリカを縦断すれば、播摩さんはXT250とXJ550で南半球の大陸・オーストラリアを走破する」というように、おふたりの体験はあまりに対称的。そんなおふたりのツーリング話をうかがいながら、当世海外ツーリング事情をさぐってみましょう。

タフネス・ヤマハを実証した 男・女ライダーによる当世海外ツーリング事情

自転車でするくらいなら、バイクの方がよっぽどラクだと思ったんです
田中さと子さん

播摩真一さん（以下、播摩）初めまして。オーストラリアをXT250とXJ550で走った播摩です。実は、今日ほど面白いお話がうかがえるのかなと思、恥しながらちよつと興奮気味なんですが（笑）。レディ・ファーストということで、まず田中さんのアメリカ縦断ツーリングのお話からうかがいましょうか。

田中さと子さん（以下、田中） 私も今日の対談を胸をときめかせて待っていたんですよ。さっそく本題に入らせていただきますけど、私の旅行はカナダのバンクーバーからメキシコのティファアナまで、ようするにアメリカ



田中 誰がこういう質問をしたいと思っているのでしょうか、僕もあえて質問させていただきますけど、何故バイクでの旅行を思い立たれたのですか。

田中 たまたまお友達から自転車で旅をしようと言われても、体力的に自信がないので断ったんです。その時、ふと考えたのですが、自転車よりもバイクならラクなんじゃないかなって思いました。さっそくその気になったというわけ。私は普通免許を持っていますので50ccバイクなら大丈夫です。播摩 田中さんは、国内でも原付バイクには乗っていたわけですね。

田中 いえいえ。バイクには全然乗ったことがなかったんです。でも、家では姉が乗っていましたし、街中でも女性ライダーの姿をよく見かけますので、私にだって乗れないことはない（笑）

いざ出陣！アメリカとカナダの国境にて（田中さと子さん）

フリーウェイからサイドロードまで無事完走したメイト。カリフォルニア州の入口にて(田中さと子さん)



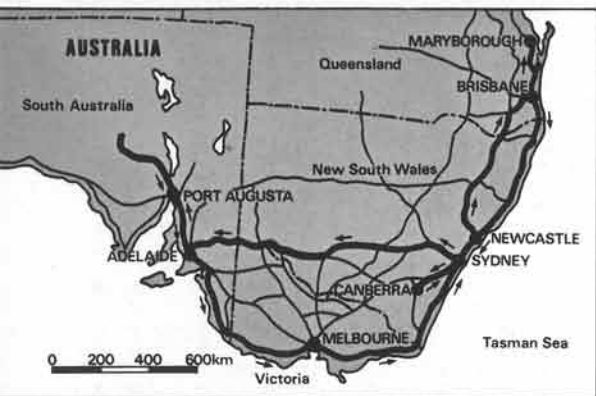
とにかく人ひとりじゃないホンモノの砂漠を走りたかったんだ

播摩眞一さん

播摩 僕の方は、もう純粋にバイクの走りを楽しみに出かけたんですが、オーストラリアの南東部を中心に砂漠とコンクリートの道を約8300キロ走破しました。バイクはヤマハのXT250とXJ550で、高校時代のバスケットボール部の後輩と2人で出かけた途中から別々に行動したんです。

田中 ということは、播摩さんはかなりバイク歴も長くていらっしゃるんですね。

播摩 と思われがちなんですけど、僕のバイク歴はたったの5年なんです。28歳の時に自動2輪の免許を取得したわけですから。でも、この5年間はかなりバイクにのめり込んだことは確かですね。オフロードを求めて東北はもちろん北海道までさまよい走ったくらいですから。



田中 オンロードよりもオフロードの方が好きのようですが、それでオーストラリアの砂漠まで飛躍しちゃったと。(笑)

播摩 ガソリンスタンド間の距離が274キロって想像できますか？また360度のすべてが地平線だったんですよ。

田中 私は全くのシロウトですから、近くのヤマハ名古屋さんに相談したんです。そして、かれこれ検討した結果、乗りやすく、耐久性にすぐれ、航続距離も長く、さらに荷物

播摩眞一さん

昨年の12月26日から今年の1月12日にかけて、高校時代の後輩と2人でオーストラリアの南東部を中心に8,339キロを走破。XT250とXJ550の2台で、オン・オフロードの走りを楽しみ。会社役員。小田原市在住。33歳。



ことも。信じられないでしょう、この途方もない広さは。とにかく人ひとりじゃないホンモノの砂漠を走ってみたいというのが、正直な気持ちですね。

相棒の条件は優しく、丈夫で、力持ちで、さらに大食漢でないこと

田中さと子さん

田中 播摩さんの旅行に比べれば、私の旅行は邪道もいいとこだったみたいですね。だって、出発前の予行演習といったら、たったの500キロの乗車経験でしかないわけですからね。

播摩 なんだか女性の方が本質的に大陸的な気質があるみたいですね。大胆というか、呑気というか。(笑)

田中 免許にしてもそうなんですけど、国際免許に原付免許ってないんですね。それで出発前に急ぎよ、自動二輪の小型限定免許をとつたり(笑)。3年前にアメリカを旅行してましたし、友人もいましたのでなんとかなるだろうとは思っていましたが、今から考えれば実に無茶だったことは確かですね。

播摩 今回の旅行の相棒にメイトを選ばれたという理由は、どこいらへんにあつたんでしょうか？

田中 私は全くのシロウトですから、近くのヤマハ名古屋さんに相談したんです。そして、かれこれ検討した結果、乗りやすく、耐久性にすぐれ、航続距離も長く、さらに荷物

を多く積み、しかも燃費がいい——という条件にピッタリなバイクということで、メイトの50ccを紹介していただいたんです。このツリーリングのための特別な改良点といえば、オプションとしてフロントバスケットとリヤキャリアを取付けたこと、ブレーキ調整しやすいように蝶ナットに変更したことだけ。交換部品もプラグしか持っていかなかったんですけど、全然不安はありませんでした。

道路上でバイクとクルマは同等の権利が与えられていたのには驚き

播摩眞一さん

播摩 僕の方はバイクショップやガソリンスタンドのない砂漠を走るのが目的ですから荷物のほとんどはガソリンと水と部品だったといえる。あいにく砂漠へのチャレンジはもう一人が熱射病でダウンしたため途中でリタイアしたわけだけど、今回のツリーリングでまず感じたことはバイクに対するサービス体制は日本がいちばん進んでいるということでした。とにかくバイクショップの数からして違いますからね。

田中 それは私も感じました。アメリカのガソリンスタンドではバイクの修理をしてくれないんです。たとえ、それがプラグ交換ひとつでもね。クルマについては完璧なほどのサービス体制が敷かれているというのに。



70日間の旅を終えてメキシコ側国境にてパチリノ(田中さと子さん)

播摩 ただ、パーフェクトに感動しちゃったのが、バイクの市民権。例えば、それがXT250でもXJ550でも、走行中はクルマと同等の権利が保障されていたことですね。バイクを追い越す時なんか、ちゃんとウインカーを出して車線変更してから前へ出ますでしょう。クルマのドライバーのマナーの良さというか、バイクライターの思いやりが痛いほど感じられましたね。

田中 ロサンジェルスからサンディエゴまではなんと大胆にもNO⑤というメイン・フリーウェイを走っちゃったんですけど、トレーラーの風圧がすごいわけです。こっちは倒れないよう必死ですから、スピードもせいぜい60キロ/hくらいから。それでもクラクションは一度も鳴らされませんでしたし、他の車線が詰まっている間は無理な追い抜きもされずに後をジッとついていてくれた。クルマのドライバーのマナーのよさには、本当に痛感しましたね。

アメリカって50ccバイクの道は町中にしかないの焦っちゃった

田中さと子さん

播摩 メイトがフリーウェイを走ったんですか、それは大変な体験ですね。かなり怖かったんじゃないかと思えますけれど、なんてそんな道をあえて選んだのでしょうか。

田中 別にフリーウェイを走りたくて走ったわけではないんです。フリーウェイしか走る道がなかったから走ったんですね。というのも、あまりにモーターゼーションが発達したために、町と町とのバイクは完全にフリーウェイが担っている。そのため、以前は利用されていたサイドロードが今や死滅しつつあるわけですね。

播摩 それじゃあ、地図には載っている道も実際には走れなかったり？

田中 そんなケースも何度かありました。実際、町の人に隣り町への道をたずねても、返ってくる言葉は「フリーウェイののれん目をつぶっていてもついでにやうよ」というひと言

港の町ポートランドでひと
休み(播摩真一さん)



時に木陰で46度(日没は午後9時)です。そんな暑い想像できません。またピンバという町からは赤土の未舗装道路が続くんですが、この赤土が細かい砂状のためちょっと油断するとすぐ転倒してしまいます。それこそ1時間に20〜30キロしか走れず歯を喰いしばりながら走ったのを覚えています。

田中 アメリカのフリーウェイは、申し分

でしょ(笑)。困っちゃいますよ。播摩 だいたい1日に何キロくらい、走られたのですか?

田中 最高で190キロ、平均100キロというところでしょうか。なにしろ時間的には余裕がありましたし、ゆっくり小さな町を巡ることが目的だったので、走行スピードも海岸道路は30キロ/h、一般道路は40キロ/hくらいというペース。ガソリン補給も2日に1回で充分でした。

播摩 僕の場合は、いちばん走った日が1000キロだった。これはXJ550の時だったけど、平均時速は140キロ/h。さすがに夕方には視力の劣えがあらか自覚でき、早々にモーターでくつろぎましたけどね。

辛さを乗り越えた時こそ、ツーリングの醍醐味って感じられるのかもね——
播摩真一さん

田中 オーストラリアはお正月が真夏ということなので、播摩さんが走られた時は最も暑い頃ではなかったのかしら?

播摩 まあ予想はしていましたが、こんなに暑いとはね。仲間が砂漠で熱射病を患ったことは前にも話しましたが、その頃の気温が夕方8

時(笑)に木陰で46度(日没は午後9時)です。そんな暑い想像できません。またピンバという町からは赤土の未舗装道路が続くんですが、この赤土が細かい砂状のためちょっと油断するとすぐ転倒してしまいます。それこそ1時間に20〜30キロしか走れず歯を喰いしばりながら走ったのを覚えています。

ないんです。でも、サイドロードはどうかというところ、ちょっと目にはいいんですけどかなりキツイですね。確かに一直線ではあるけれど、アップダウンが激しいとか、ね。おかげさまで私の相棒はそれにもめげずに力をふりしほって頑張ってくれましたけど、ある町から町まではそれこそ海岸づたいの道なき道を手さぐりで走ったり、ヒヤヒヤの連続でした。

播摩 僕は砂漠の途中でリタイヤししたからあまりリッパなことは言えませんが、それでも辛さを乗り越えた時の充実感は最高でした。今回のツーリングで初めて苦労らしい苦労も味わうことができましたが、こんなにツーリングの醍醐味を感じたことは今までありませんでした。

田中 ちょっと私が訪れた10月から12月のウエストコーストは雨期だったんですけど、オーストラリアでは雨に降られたことはなかったのですか?

播摩 砂漠に入るまではかなり雨に降られましたよ。幸い完全舗装の所ばかりだったので、走行上ではそれほど苦労はしませんでした。早起きでカーテンを開けて雨だったなんて時は、出発の仕度もついガラガラとなりがちで……。(笑)

波の叫び、風の強さ、雨の痛さを通した旅の楽しさはバイクだから味わえた——
田中さと子さん

田中 最初の頃はほとんど雨なんです。朝から雨だと「イヤだなあ」と独り言をつぶやいたり(笑)。カッパを着て走り出したらええばもうなんでもないんですけど、それでも気分が晴れないので陽気な歌を口ずさみながらネ

播摩 確かに雨はいやなんですけど、先程の話でもそうでしたが、それを乗り越えてツーリングを終えた時はもう満足感というか充実感が残るんですね。

田中 そういえば私たちの日常生活の中で本当に耐えることって、少ないですね。それは精神的にはいろいろあるでしょうけど、

砂漠の中のハイウェイをひたすら走る(播摩真一さん)



いまは寒けりや暖房がありますし、逆に暑けりやクーラーがあるわけで自分の身体を自然現象に順応させようとはしない。波の音もそうだし、風の優しさや厳しさ、雨の冷たさや痛さや暖かさは、バイクでツーリングしたからこそ味わえたもので、3年前のアメリカ旅行とはひと味ちがう感動を私に与えてくれたみたいですよ。

理想的なツーリングは、案外カッパによるタンDEM・ツーリングかもしれない——
播摩真一さん

播摩 いろんな人と知り合えたのもバイクのおかげ——といえるエピソードもいくつかありましたよ。例えば、シドニーの約60キロ手前にあるピクトンという小さな町の古いホテルに泊った時は、バーでその主人とバイクの話に花が咲き、翌日は僕たちのXT250に彼とその友達の4人で近くの草原ヘッティングに出かけたり。彼らはこの時とばかり「オーストラリアン・ブッシュを教えてやるよ」とハードなコースにわざわざ誘い出し、10回以上も転倒させられるハメにね。(笑)

田中 写真でもご覧のとおり、私はそのほとんどを上下お揃いの羽毛服を着ていたんですが、その格好があまりに奇妙だったのかレストランやドライブインに入るたびに声をかけられるんですね。「どこから来たんだ?」「何でそんな無茶をするのだ?」「今日はハロウィン(子供のお祭り)だからうちへ来なさいよ(笑)……といったように。さらに、

メイトがアメリカへは輸出されていないらしくて珍しがられてばかり。一度は対向車線を走っていたクルマが通過してからUターンして来て追いかかれ、私を日本人と確認するやいさなりプロポーズしてきたり、とにかく話は尽きません。

播摩 それはスゴイ/でも、なんでまた日本人と確認した上でプロポーズなぞ?

田中 なんでも、その人はアメリカ人とフランス人の女性と2度の結婚経験があるのだそうなんです。2度とも失敗したらいいんです。それで、前から日本人女性に優しいと聞いていたらしくて、私が日本人というだけで追いかけてきたらしいんですね(笑)

播摩 それはともかく外国人って気さくですよ。ひとつ興味を抱くと心のままに寄ってくるし、見栄もなければおごりもない。

田中 人口18人の村にも滞在したのでですけど、みんな親切で大歓迎。そうそう、途中でタンDEM・ツーリングしていたスイス人のカッパと友達になったんですけど、とてもうらやましかったですね。

播摩 僕にも経験がありますけど。1人だとなにかで感動しても、その感動を共に喜ぶ人がいなくて悔しくなる時ってありません? そういう意味ではツーリングの最高の形態って、カッパのタンDEMじゃないかなって気もするんですけどね。

田中 同感。私もこのツーリングを終えてすっかりバイク・ファンになっちゃったんですけど、次に出かける時は絶対タンDEMで行こうって心に決めてはいるんです。



4ℓの子備タンクと2ℓの水筒、さらに砂漠に入る時は10ℓのタンクを用意(播摩真一さん)

ついに登場!

待望のフルフェアリング・モデル XZ400D / XJ750D 新発売!

高まるユーザーニーズに应运えて、いよいよこの夏から国内でもモーターサイクルへのフェアリングの装着が認可されましたが、フルフェアリング第一号モデルとして登場するのが「XZ400D」と「XJ750D」。
かねてからモーターサイクルの分野にエアロダイナミックスの導入を進めていたヤマハの技術が、いままた新しい世界を開くのです。

● 車体構成の一部として 設計・デザイン

スーパーVツイン「XZ400D」と新開発のプレステージ・スポーツ・ツアラー「XJ750D」に装備したフルフェアリングは、風圧や雨、寒さなどからライダーを守り、より快適な高速連続走行を可能とするために開発したものだ。

「フェアリングは、それ自体単独で成立するものではなく、トータルとしてのモデル・コンセプトに合致したものでなければならぬ」という、ヤマハのフェアリングに対するポリシーにもとづいて、それぞれスーパーVツインXZの、またスポーツ・ツアラーXJ750の、車体構成の一部として設計・デザインされたもので、こうしたインテグレートッドデザインによるフルフェアリングとしては、日本で初めて登場するものです。

それだけに設計に当っては、スーパーVツインとしての、またスポーツ・ツアラーとしての理想的な前面投影面積を設定して空気抵抗を低減させるとともに、エンジン冷却風の積極的な導入とリフトの発生を抑えることによる高速走行時の浮き上がり防止、走行安定性の向上などを、風洞実験のくり返しによって徹底的に追求しています。

● モーターサイクルの スポーツ性を活かして!

このフルカウリングは「XZ400D」、「XJ750D」ともに、スクリーン、フェアリングボディ、アンダーフェアリングの3点で構成されています。

YSP
Limited Version



そしてスクリーンは、表面にハードコート処理を施したポリカーボネート製、その他の部分はFRP製で、耐熱、耐寒、耐燃製にもすぐれたものとしています。

このスクリーンと乗車姿勢の関係は、通常走行時はスクリーン上部から前方を確認する設計とし、前傾姿勢時のみスクリーンを通して前方を視るようになっていますが、このように風を完全にシャ断するのではなく、モーターサイクル本来のスポーツ性を大切に活かしているところにヤマハ・フルフェアリングの最大の特徴があります。

また、それぞれのモデルの性格にあわせ「XZ400D」では、左右両側面に開閉式パーを設けて下肢への導風を可能にしているのに対し、「XJ750D」では両側面にキー付き小物入れを設置。さらに右側にはビニール製のチケットホルダーを設けるなど親切設計を徹底させています。



エアロダイナミクスと先進エレクトロニクス技術から生まれた スーパー・エアロ・スポーツ XJ750D

さて、フルフェアリング国内第1号モデルとして新登場する「XJ750D」は、同時にヤマハの先進エレクトロニクス技術をフル投入したステータス・モデル、プラットフォーム・モデルともいべきスーパー・エアロ・スポーツです。

YFISを採用して
低速からなめらかな
パワーフィーリングを確保

その第1の特徴は、XJ750E/Aで
評の4サイクル並列4気筒エンジンに、新開

発の電子制御燃料噴射システム「Y・F・I・S」
(ヤマハ・フェエル・インジェクション・シ
ステム)を採用していることです。

この「YFIS」は、エンジン回転数、吸
入空気量、エンジン温度、点火タイミングの
各情報をマイクロコンピュータで処理し、

エンジンの作
動状況に合わ
せた理想的な
ガソリン量を
噴出するもの
により、

シャープなレ
スポンスとス
ポーツ・ツア
ラーとして欠
かすことので
きない低中速
から高速まで
のなめらかな
吹き上がりを
確保し、同時
に燃費の向上
、始動性の向上
を実現してい
るのです。

また、この
システムは、
吸入空気量の
検出にホット

ワイヤ型センサーを採用しているのも特徴で、
吸入抵抗が少ないところからレスポンスにす
ぐれ、中低速のパワーフィーリングを一段と
なめらかにしています。

さらに、「YFIS」の作動をより効果的な
ものとするために、これまでの電子進角式フ
ルトランジスタ点火に負圧制御システムをプ
ラスしたのも「XJ750D」の大きな特徴。
この負圧制御電子進角システムは、エンジ
ンの回転数の高化にのみ対応していた進角シ
ステムに加えて、エンジン負荷の変化にも同
時に対応させたもので、加速フィーリングを
一段と向上させるとともに燃費のアップにも
大きな効果をもたらしています。

**高速クルージングをより安全に
ヤマハ・サイクル・コミュニケーション
ション・システム**

「YFIS」というエンジン関係のエレク
トロニクス化とならぶ「XJ750D」のも
うひとつの特徴は、「ヤマハ・サイクル・コミ
ュニケーション・システム」の採用です。

昨年の東京モーターショーでの参考出品車
「XJ1100ターボ」に装備して発表したこ
のシステムは、モーターサイクル用としては
世界に例のないコンピュータ・インフォメ
ーション機構に液晶デジタル表示のスピード
メーターとタコメーター、さらに「XJ75
0A」で定評のマイクロコンピュータによ
るコンピュータ・モニターシステムの3つ
の機能をメーターパネルに組込んだもので
もちろん、この「ヤマハ・サイクル・コミ
ュニケーション・システム」は、マシンの状
況を克明に把握し、マシンの行動能力を予測

して、トラブルの発生を未然に防ぐことを目的
として新採用したのですが、このシステム
は同時にモーターサイクルをより機能的に活
用し、エンジョイするために、乗り手とマシ
ンのコミュニケーション促進をめざすヤマハ
のモーターサイクルづくりの姿勢を示したも
のです。

右ハンドル・スイッチ部に設けたファンク
ションスイッチで操作するコンピュータ・
インフォメーションは、①時刻②加算トリッ
プ③減算トリップ④燃料残量⑤瞬間燃費⑥走
行可能距離⑦走行時間⑧平均車速⑨燃料消費
量⑩平均燃費をコンピュータによって即座
にデジタル表示するもの。

また、スピードメーターとタコメーターも
デジタル表示式。さらにサークルグラフ表示
式のタコメーターは、ノーマルモードとアイ
ドルモードを備え、アイドリング時は50回転
単位のシビアな表示を行なうものです。

さらにはコンピュータ・モニターは「X
J750A」でおなじみのものですが、これ
も「XJ750D」では、カラー液晶による
ビクトグラフとなっています。

この他「XJ750D」の特徴としては▼
前後ともイコライザー付のセミ・エアサスペ
ンションを装備(リヤサスは、5段階調整付)
▼アジャスタブル・アンチノーズダイブ・フロ
ントフォークの装備▼セミメタル・ブレーキパッ
ドを採用して一段と強化したフロント・ディ
スクブレーキ▼アルミ鍛造製のペダル、フー
トレスト、タンデムステップ▼ソフトモール
ド・グラブバー▼ダイキャスト製テールキャ
ップ付ブラック・クロームムフラー▼カラー
シート▼フレキシブル・リヤフラッシュャーと
ビルトイン・フロントフラッシュャー▼中空式
防振角型バックミラー……などが挙げられま
すが、いずれもヤマハのプレステージモデル
にふさわしい充実した機構、装備です。

わが国初のフルフェアリングをまとったスーパーVツイン XZ400D

日本初のフルフェアリングを装備してスーパーVツインXZ400Dが新登場。スポーツフェアリングを活かしたこのフェアリングは前面に開閉式ルーバーを備えたもの。同時にダンパーアジャスタブル式モノクロス・サスペンションを装備。前後フットレストもアルミ鍛造製です。



〈XZ400D・車体寸法と重量〉●全長2135mm●全幅750mm●全高1320mm●シート高780mm●軸間距離1445mm●最低地上高135mm●乾燥重量200kg

トライアル・ファンの熱い期待に応えて

TY175

限定販売

名車TY125/250のテクニカル・ノウハウをそのままに再現して、いまスーパー・トライアル『TY175』が限定販売されています。パワフルな2サイクル単気筒、軽量・高剛性のダイヤモンド型フレームなど、すべてにマニアのための本格設計です。

※このTY175は、運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得し、公道を走行することはできません。



エアロダイナミックスの追求と先進のエレクトロニクス技術から生まれた、ヤマハの
プレステージ・スポーツツアラー

XJ750D



径2.7m ● 制動停止距離15m(50km/h) ● 4サイクル・DOHC・並列4気筒・748cc ● 内径×行程65×56.4mm ● 圧縮比9.2 ● 最高出力70PS/9000rpm ● 最大トルク6.2kg-m/7000rpm ● 始動方式セル ● 潤滑油容量12V14AH ● 1次減速(比)ギヤ(1.672) ● 2次減速シャフト ● クラッチ湿式多板式 ● 変速機リターン式5段 ● 変速比12.1872(1,500)1.1534(0.933)5.0.812 ● フレーム鋼管ダブルクレードル ● シンハー+エアトコイルスプリング(前後とも) ● ヘッドランプ12V60W55W ● テールランプ12V8W ● ストップランプ12V27W ● フラッシュランプ12V27W ● マーカランプおよび各種ハイロッドランプ類12V3.4W



●全長2170mm ●全幅730mm ●全高1365mm ●シート高785mm ●軸間距離1440mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量231kg ●燃費(定地走行テスト値)43.5km/ℓ(60km/h) ●登坂能力30度 ●最小回転滑方式強制圧送ウェットサンブ ●エンジンオイル容量3.5ℓ ●燃料タンク容量19ℓ ●燃料噴射型式22N(YFIS) ●点火方式トランジスタ ●点火プラグBPR7ES/BP7ES(NGK)W22PR/W22EP(ND) ●バック ●キャスト28度 ●トレール115mm ●タイヤ(前)3.25H19-4PR(後)120/90-18 65H ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置オイル



責任があるから乗せるのさ

マイク真木(ミュージシャン)

僕は近所の奥さん達の間では評判が悪いのです。というのは、子供をバイクに乗せているからです。もちろん、自分の子供をです。3歳の勇人はポケバイに乗っています。ヨレヨレで乗っています。長男の蔵人もポケバイに乗ります。全開で乗ります。そして、買い物バイクにも乗っちゃいます。もちろん公道ではなく、私道や広っぱをです。

「あつふないわよネー!」

「あんな小さな子にバイク乗らせてネー」

「レーサーにでもする気かしら」

「バイクに乗せて強い子に!……なんてやってんのよ」

「とにかく止めてほしいわね。ウチの子が乗りたがったら、大変ですもんね」

「そうですわよね。オクさま!」

冗談じゃネー。僕はですね、無理に子供に

乗せてるわけじゃない。奴等は乗れるノと判断したし、奴等も乗りたいノとその気になったから乗せているんです。レーサーにする気もないし(なりたかったら別だが)、別にバイクに乗って強い子にしようとも思っていない。おたくの子だってその気があれば(親にもです)、責任持って乗せますよ。そのかわりスリムキぐらいは覚悟してくださいね。バイクはですね、全責任を自分でとらなきゃ走れないんです。ボヤボヤしてたらバランスを失って転ぶんです。前をしっかりと見てなきゃ激突するんです。わかってますか、奥さん。

自動車はね、自分が自動車の上に乗るんです。バイクはね、自分の下にバイクがあるんです。そうです、確かにおっしゃる通り危ないことは危ないのです。じゃ、なんですか、おたくの子供にはナイフを使わせないんですか。それもいでしょう。そんな子がね、大きくなるとナイフで何かを切ってみたくなくてね、親なんかを切っちゃうんですよ。まっ、今からバイクに親しんでいけば、ニキヒ面の頃にツツバツた乗り方だけはしないでしよう。バイクなんてね、今の世の中にも特別な

ものでもないんです。当り前のものなんですから。

「ウチは乗せません!」。それならそれで結構です。別に無理に乗ってくれとお願ひしているわけじゃありませんから。でもねー、男の子だったら乗りますよ。ダメノと言ったって、隠れて乗りますよ。盗んで乗りますよ。ツツバツた乗りますよ。その時になってあわてないでくださいね。

そりゃ僕だって心配です。子供が乗っている時はヒヤヒヤです。こんなに心配するんなら、乗せない方がいいじゃないかと思うこともあります。勇人のバイクはスロットルが全開にならないようにセットしてあります。でも、なにかのトラブルで全開になってしまつたら……これは僕の責任です。

転んでくれノとも願っています。怪我をしない程度スリムキぐらいの転び方をしてくれとも願っています。そうすれば、そこで何故転んだのか勝手に身体が覚えてくれます。(若いうちはね)

どこかにつつかれノとも思っています。それも本人の不注意でね。願わくば電柱や壁よりも金網ぐらいにつつかってほしいと願っています。何故ぶつかったのか、そこでひとつ覚えるはずですよ。ナイフだって同じです。木を削っています。指を切れノそれもほんのちよつとだけ切ってくれ、と思っています。

このあいだ、長男の蔵人はギヤ付きの50ccバイクに乗れました。僕はなんだかとても嬉しかったのです。もちろん公道じゃありません。さっそく学校から注意がありました。「バイクに乗せるとはナニゴトカ!」

近所の奥さんは50ccの「買い物バイク」の荷台に子供用のシートをつけて、2人乗りで公道を走り、よく買い物に出かけます。ダメも注意しません。

「楽器とジーンズとバイクは一生手離さない!」と語る氏の作品。バラが咲いた。はあまりにも有名。

まいく・まき 37歳 10歳からバイクに親しみ14歳で原付免許を取得、以来バイクの魅力にとりつかれる。「楽器とジーンズとバイクは一生手離さない!」と語る氏の作品。バラが咲いた。





うちの店でもパーソナルコンピューターを導入して、OA化をすすめたいのですが？

6月のヤマハ奥様全国大会で、事務処理の合理化を進める販売店さんの姿が数多く紹介されて以来、こんな質問が編集部に相次いで寄せられています。そこで今回からシリーズでパーソナル・コンピューターを中心にした二輪販売店さんのOA化を探り上げます。第1回は、OA化の基本的な考え方。回答は、東芝・ビジネスパソコン営業部です。

可能なことは機械に任せる OAとは、事務処理の合理化

OAとか、OA化とか、最近じつによく目にし、耳にする言葉ですね。このOAとは、オフィス・オートメーションの略。オフィスの仕事を機械化し、事務作業の生産性を高めようというものです。

では、いままぜ、OA時代などといわれるほど、OAに大きな関心が寄せられているのでしょうか。それは、特に大企業などにおいて製造工程のめざましい自動化、省力化に比べてオフィス、事務処理部門の合理化が著しく立遅れていること。しかも、日毎に複雑化する産業社会で、的確な経営戦略を展開し、効率的な経営を進めて行くためにはオフィス事務の合理化と強化が絶対条件となっているからにはなりません。

コミュニケーションや文書処理など機械化できる仕事はなるべく機械にやらせ、その結果生まれた時間をより創造的な仕事にふり当てよう、というわけです。

折りしもエレクトロニクス技術の飛躍的な進歩は、新しい事務処理用の機械をつぎつぎ

に生み出していますが、これらはいずれも従来のように単なる事務の補助的役割から脱皮して、知的生産にも十分に耐えるだけの機能を備えるようになっており、これがまた事務処理革命推進の大きな原動力となっているのです。

OA化で生みだされた時間を より創造的な仕事に

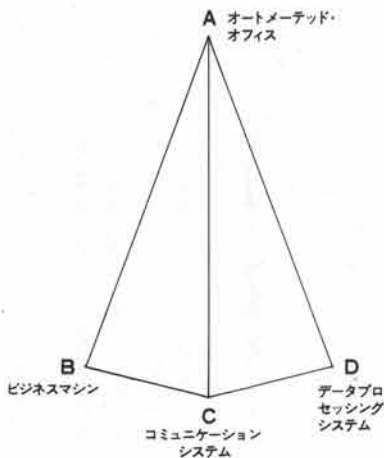
こうした背景は決して大企業だけの話ではありません。現実にはバイク販売店さんでもOA化がめざましい勢いで進んでいます。『販売台数が増えれば、事務手続きも増える』というわけで、年々急伸長をつづけている販売台数にしっかりと対応できる事務処理能力を備えておこうということです。

今日のように販売台数が増えれば「店の事務処理は女房の仕事」などと悠ちように構えているわけには行きません。商品の管理、経理業務、お客さまの管理など機械にまかせられる仕事は、どんどんと機械に任せてしまう。そして生まれた時間を、新しい需要づくりのために役立てる、これがご商売の拡大につながる……お店のOA化は、こうした理想的な

サイクルをつくり出す基盤ともなるのです。

OA化は一歩一歩着実に

それでは具体的にどのようなOA化を実現していったらよいのでしょうか。またそのためにはどのような機器があるのでしょうか。現在あるさまざまな事務、通信、情報機器をベースに改良を加え、機能を追加しながら一歩一歩能率的なオフィス環境づくりを進めて行くというのが東芝の基本的な考えで、これに沿ってOAの発展過程を考えたのが左の図です。



つまり、B・ビジネスマシン（事務機）C・コミュニケーションシステム（通信システム）、D・テータープロセシングシステム（データ処理システム）……これらの周辺には複写機、ファクシミリ（電送機）オフイスコンピュータ、パーソナルコンピュータ、ワードプロセッサ（文書作成機）など多数の機器があるわけですが、これらを一歩一歩着実に使いこなしながら、最終目標であるオートメーテッド・オフイス（自動化オフイス）を目指してO A化を進めて行こうとする考え方は、

もちろん、こうしたO A機器の中には、タイプライター、金銭登録機、電話機、電卓など、すでに身近な存在となっている製品類も当然含まれています。そして、プッシュホ

ンで計算が可能になったり、ファクシミリでコピーがとれたり、というように単体機器をさらに複合化、システム化してより高度な能力を発揮するような機器の開発がつつぎと進められています。

あくまでも「主役は人間」 始まっている「二輪販売店のO A化」

ここまでご説明してくると、お店のO A化に対する考え方もだいぶはつきりとしてくることでしょう。たしかに、オフ・コン、ファクシミリ、ワードプロセッサは3大神器（これにコピーを加えて4大神器ともいう）といわれるほど、現代の花形機器として注目されていますが、なにもこれら最先端の機器を即導入することがO A化ではないのです。

逆に「うちのような商売に、O Aなんて関係ない」と思われていたような社長さんでも目の前にプッシュホンがあったり、電卓があったり、ヤマハへの部品の発注にドレスシステムを活用されていたりすると、改めて「うちのO A化もここまで進んでいたのか」とびつくりされることでしょう。

まさにO A化は、現代の社会的要求でもあるのです。

そしてもうひとつ肝に銘じておかなければならないことは、O Aを構成する機器やシステムがどんなに進歩しても「主役は人間」だということ。この点が、製造工程のオートメーション化やコンピュータ化とオフイス・オートメーション化の決定的な相違であるわけです。

「機械に夢を抱きすぎない」これもO A化の中で忘れてはならない戒めでしょう。

たしかにO A機器は、使い方ひとつで人間にはとても及ばないような能力を発揮してくれるものです。

例えば、カード方式のユーザー管理では、いかにカードの作成をきちんと行なっているか、お客さまの数が増えれば増えるほど、その活用には時間もかかり、困難も大きくなってきます。ところが、これがコンピュータならば、インプットされているほう大な数のお客さまのデータの中から該当する人を瞬時にアウトプットしてくれます。

また、毎月の販売結果の分析にしても、販売台数が増えればデータの収集だけでも、すぐに手の人には負えないほどになってしまうことでしょう。

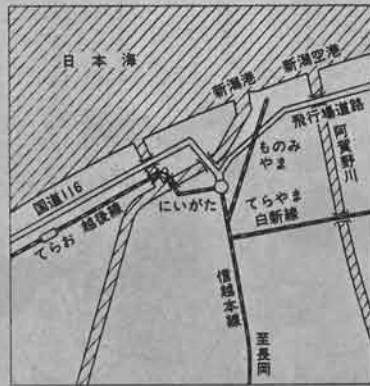
しかし、問題はこの後なのです。インプットされた情報をいかに分析し、お店の営業戦略として組みあげていくか、これを考えるのはお店のみならずご自身だということです。その意味でも、O A化は、あくまでもお店の経営戦略に即して推進していくべきだ、ともいえるでしょう。

（つづく）





急ピッチの都市化の中で
越後平野は、いま夏商戦まっさかり



西南から北東にかけて細長く広がる越後平野の中心・新潟市。このあたりは、干潟や低湿地が多く、古くから米どころとして、全国にその名を知られています。
その反面、信濃川、阿賀野川など日本海にそそぐ大河の河口には、石油コ

ンビナートや大工場が群集し、旧市内とは好対象を見えています。都市化の波は、いまこの古い町を急ピッチで浸触し、人口45万人、裏日本最大の都市としてにぎわいを増しています。また、土地柄雪も多く、春先から秋までの半年間に商品の動きは集中しています。
こうした中で、もっか大活躍中のフレンド店は187店。最盛期を迎えたこの時期に、個性豊かなご商売を展開されています。また、上越新幹線の開業、関越自動車道の全面開通を間近に控え、市場も例年になく活況を呈しているところだす。
〈特約店 越後橋商店・中村光男次長〉

あらゆるハンデを乗り越えて
目指す商圏は「日本全国」

モーターサイクルセンターオダジマ／川内武志社長
新潟市榎尾
新潟市郊外の国道116号線沿いにあり、豊富な品揃えと広い店舗でひとときわ目を引く
のがモーターサイクルセンター「オダジマ」さん。



↑左から奥さまの正子さん、池田さん、西沢さん、古俣さん、川内社長、滝沢さん、本間さん、写真には写っていませんが、人気者の近藤さんも加えてチームワークはバッチリ



→市場を全国に求める「オダジマ」さん ●店舗面積230坪 ●展示台数150台 ●立地条件・国道116号線沿 ●作業スタッフ8名

比較的交通量の多い国道沿いにあるとはいえ周辺は農地ばかり。このような立地の中でどういったご商売を展開されているのかと不思議に思い川内社長にうかがってみました。
「市内は雪が少なくないといっても冬はほとんど商売にはなりません。そこで季節的なハンデや立地的なハンデを克服するために、商圏

や地域にこだわらない全国的な販売を目指しています」とか。
しかし全国的なご商売とひとくちに言っても普通の商品を普通に売ったのでは販売は成り立ちません。そこで「オダジマ」さんが取り組んでいるのが他所にはないオリジナル商品の開発です。



店内はこんなオリジナル用品でいっぱい

タンク、シートなどのスペシャル・パーツをはじめ、トレーナー、Tシャツなどのウェア、ステッカー類にいたるまで店内には「オダジマ」オリジナルがあふれています。これらの商品を専門誌でPRし、その販売網を広げています。

またこれらの広告を見て遠方から来店されるお客さまのために接客にも気をつけ、気軽に商品を見ていただけるお店づくりがなされ

れています。お客さまとの対話は必要最小限、もちろん質問されたことについては親切に答えませんが、お茶を飲みながらの商談はあまりしません。これは「強引に売りつける」という印象を与えぬため、気軽に入れるお店づくりにひと役買っています。

このような商売を実現させるにいたった川内社長のご商売に対する考え方をうかがってみると――

「オートバイというのは趣味で乗る人が多いわけですから、価格だけでは良い成績は残せませんね。確かに安さというのもサービスのひとつだと思えますがね。それよりもっと必要なのは、お客さまに喜んでもらうことだと思います。趣味の乗り物だけに、良い品物や優越感を満足させる品物を揃えておけば価格以外の部分でお客さまは喜んでくださるものですよ」

代替サイクルに注目！ 2年先を見越した「商売を展開中」

（南）佐上商会物見山店／佐上博社長

新潟市から東へ6km、通称飛行場道路と呼ばれる空港への道を走ると「佐上商会」さんの大きな看板が目に入ります。

この近辺は市内に通勤するサラリーマン世帯が多い新潟市の新興住宅地。このため飛行場道路の交通量は多く、この大きな看板が絶好のアイキャッチャーとなっています。さらにスポーツバイク、ビックバイクを中心とした店頭陳列により、ヤングやアダルトなど多くのバイクマニアの心をとらえています。

お客さまのニーズを最大に反映したお店づくりを目指すという佐上社長が、現在展開しているご商売は、2年先を見越した商売。これは4輪車ユーザーに多く見られる、2年ごとの代替が2輪車ユーザーにも浸透してき

た事に注目して始められたことか。

このライフサイクルの変化は2年ごとの車検制度も影響していますが、むしろもうひとつの原因として、つきつきに発売される魅力

新潟市物見山

的な新車も一因となっています。このことはユーザーに、1台のバイクを乗りつぶすのではなく、色んなバイクフィーリングを体験してみたいと言う欲求を起させ、代替を促進させています。

この傾向をご商売に活かすことについて佐上社長は、「人気のない車種はまず最初に安売りの対象になってしまいますね。もちろん人気のある車種についていえばその逆です。このことをお客さまに納得してもらい、値引幅が少なくても売れる人気車種を勧める。ようするに先のことを考えて下取り価格の高い車は、代替するときに有利だということです。これによって定価を守ってバイクを売ることでできますからね」と話されています。

このことはバイクを、買ってくださったお客さまにとっても有利なばかりでなく、必然的に人気のある下取り車が集まるということでお店にも大変有益なことになるわけです。



←通勤客の注目のマト、
（南）佐上商会物見山店 ● 店舗面積150坪 ● 展示台数60台 ● 立地条件・住宅街、幹線道路沿い ● 作業スタッフ4名

↓店長の梁取さんと接客で活躍する梁取さんのお母さん豊さんはいくの外出中、左から佐藤修さん、佐上社長、佐藤博さん



2つのセールで夏場の市場を活性化

（株）アルファ／山崎昇社長

また「新潟ドライブメイト」と称するツーリングクラブを結成。ユーザーの動向、商品の

自転車との併売店が多い新潟で、初めてバイクだけの専門店としてオープンしたモーターサイクルショップ「アルファ」さん。

市内に3店、長岡に1店と計4店の店舗をもち、各店ごとに、ファミリー、ビック、中古車、サービステクニックと色分けをしているのが特徴です。モーターサイクルショップと呼ばれるビックとファミリーに重点を置いた店舗と、オートバイセンターと呼ばれる中古車販売と修理にウエイトを置いた店舗を持ち、多様化するお客さまのニーズに合せたご商売をキメ細かく展開されています。

の流行など、身近でダイレクトな情報の収集にもひととき熱心な佐上社長です。

雪の多いこの地方では、今の時期にご商売が集中します。そこで全店をフル稼働させるべく、この夏、山崎社長が打ち上げた2つのセールが好評を集めています。

まずその第1弾は、「GOGO大作戦」。昨年、開店5周年を記念して開催したのが好評のため、今年も引きつづき行なわれているものです。メインとなる内容は新車、中古車を問わずバイクを買ってくださったお客さま全員に、「愛の花」をプレゼントするもの。とかくハードなイメージの、バイクと花のドッキングはファミリーバイクのユーザーだけでなく、

新潟市有明大橋町

信頼感を一手に集めるバイク好き3代目!

長島輪店 / 長島秀男社長

古くから農業を営む家々と、市内へ通勤するサラリーマンのための住宅が混然と並ぶ通

り沿いに創業60年の歴史をもつ『長島輪店』さんがあります。自転車、二輪車、四輪車と



↑「アルファ」の顔、山崎社長
→どんなお客さまでもおまかせください。左から機部さん、鈴木店長、XZにベタボレのお客さまの斉藤さん、事務の浅井さん



バイク専門店として成長する「アルファ」西新潟店 ●店舗面積140坪 ●展示台数120台 ●立地条件・国道116号線沿い住宅街 ●作業スタッフ3名

大型車を購入してくださったお客さまにも好評でお店のイメージアップに大きな効果を収めているといいます。

またもうひとつのセールスは「フォーティサマーセール」と題して、商品の動きが活発なシーズン中の40日間に的をしほり開催しているもの。これは各店にひとりづついる2級整備士と安全運転指導員により、その道のエキスパートとしての役割を前面に打ち出して乗り方指導や点検、修理とバイク専門店にできないアフターサービスや保障を強調しています。またこの期間中はデパート、スーパーマーケットなどのタイアップによる展示即売会にも力を入れます。

しかもこれらのセールスをテレビ、ラジオのスポット広告により集中的にPRし夏商戦を活気づけている「アルファ」さんです。



↑左から奥さまのヨシノさん、秀男社長、富次郎さん、シヨンさん、渋谷さん、坂下さん



→パツグンの整備力を持つ「長島輪店」さんの店先 ●店舗面積62坪 ●展示台数30台 ●立地条件・住宅街 ●作業スタッフ6名

生活の足となる乗り物全般を取り扱い、しっかりと地域に根をおろしたご商売を展開され、信頼を一手に集めているお店です。

現在、お店の運営に当たっているスタッフは6名、うち2名のサービスタッフをのぞくとあとは全員家族。しかもこのスタッフの中には、今年74才になるオジイちゃん、富次郎さんと、同じく74才になるオバアちゃんのシヨンさんが、元気に自転車部を担当されています。

この富次郎さんは今でも近所に出かけるときはバイクに乗っていくという大のバイクファン。もちろんこの血を受け継ぐ3代目の秀男社長もバイクには、ひとかたならぬ愛情をそそぐマニア社長。

こんな「長島輪店」さんのセールスポイントは「お客さまに納得してもらえらるサービス」です。どこで買ったバイクでも、どんなにやっかいな修理でも気やすく面倒を見る。これがバイク好きの秀男社長の「ご商売のやり方」です。

これにプラスして地味な活動ですがナンバーを曲げて走る若いお客さまが修理にくると返すときには必ずナンバーを元どりにして渡します。また住宅街に店舗があるため、帰りのお客さまにも店の前ではエンジンをかけずに民家の少ないところまでいってから走りだすように指導しています。このようなキメ細かな心遣いがバイク好きの子供を持つ親ごさんや、近所の人たちからも信頼を得てご商売の拡大へと結びついているのです。

うちらナーワの奥さまパワー!

「ヤマハ大阪奥さま会」発足



↑100名以上のヤマハ奥さまが出席して開かれた発足会

→この6人の支部長さんを中心に各支部ごとの活動がくりひろげられる。左から福田洋子さん(田辺・和歌山)、寄田秀子さん(堺)、米島香代子さん(大阪東)、佐古弘子さん(大阪北)、赤坂鈴江さん(大阪南)、岡本トクエさん(大阪西)



↓初代会長の佐古弘子さんに武田ヤマハ大阪常務から目録が贈られて「ヤマハ大阪奥さま会」の実質的な活動開始

またひとつヤマハ奥さまの親睦会が発足しました。6月の第2回ヤマハ奥さま全国大会の席上でも紹介された「ヤマハ大阪奥さま会」
昨年12月に発足した「ヤマハ埼群レディスクラブ」につづく全国で2番目の組織です。



↑大阪の生んだ大女優ミヤコ蝶々さんもかけつけて記念講演会

ヤマハ奥さま相互のコミュニケーションを通じて、お互いの親睦を深めながら、同時に情報交換をはかり、お店での経営パートナーとしての実力を身につけよう——という目的のもとに、ヤマハ大阪傘下の販売店奥さま164名を集めて結成されたのがこの「ヤマハ大阪奥さま会」。

去る6月23日には、大阪市内のロイヤルNBC会館において盛大な発足会が行なわれました。当日は、商戦たけなわの折りにもかかわらず100名以上のヤマハ奥さまが参集。ヤマハ発動機・川口大阪支店長、ヤマハ大阪・武田常務らの激励を受けて、新しい活動への意欲を新たにされていました。

この「ヤマハ大阪奥さま会」は、ヤマハ大阪(株)本店内に本部を置き、本部には会長1、副会長、理事、監事各2名、計7名の役員を選任。また和歌山・田辺を含む管内6営業所ごとに支部を設け、それぞれに支部長を置いて活動を展開していくことになっています。

そして、その活動計画もジャズダンス、チャーム体操、英会話など健康と教養づくりのための「奥さまサロン」に「奥さまセミナー」。「秋のスポーツ大会」ともりだくさん。

また会員の特典として定期健康診断、1日人間ドックなどの「奥さま健康診断」をはじめ多数のメリットが設けられています。

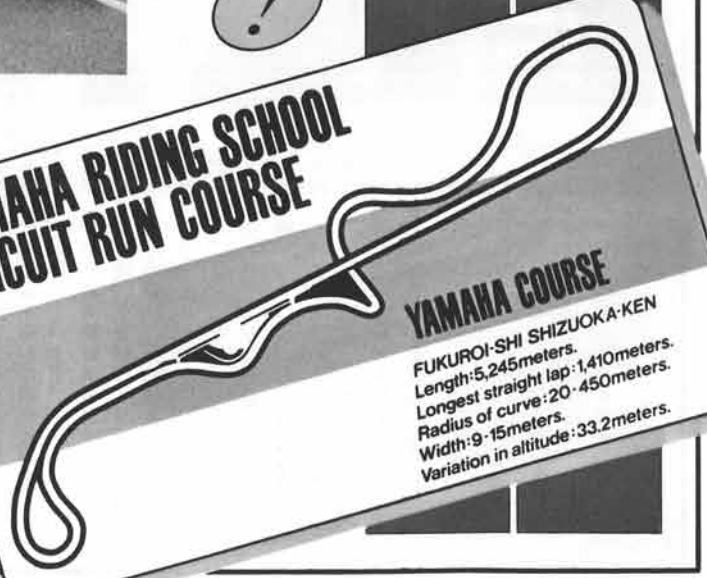
発足会で初代会長の大役を任せられた茨木サイクル(佐古芳郎社長) 佐古弘子さんは——

「164名の会員が互いに手を取りあって歩いていく、という気持を大切に守っていききたい。楽しく、有意義な奥さま会でなくてはなりませんからね」と会員相互のコミュニケーションを強調されています。



マシンが風になる。 ヤマハコース・ラン

ヤマハライディングスクール
サーキットラン・コース
好評開講中！



**YAMAHA RIDING SCHOOL
CIRCUIT RUN COURSE**

YAMAHA COURSE
 FUKUROI-SHI SHIZUOKA-KEN
 Length: 5,245 meters.
 Longest straight lap: 1,410 meters.
 Radius of curve: 20-450 meters.
 Width: 9-15 meters.
 Variation in altitude: 33.2 meters.

ヤマハライディングスクール（YRS）をはじめ、ミニYRS、オフロードライディングスクールなど、スポーツバイクユーザーに対する充実した安全運転教育活動のラインナップに、さらに新たなコースが加わりました。その名も、ヤマハライディングスクール・サーキットランコース。

静岡県袋井市のヤマハコースを会場として開かれるこのコースは、ヤマハの250cc以上のスポーツバイクユーザーを対象に、新しいスポーツ走行の醍醐味を満喫していただくと同時に、国際A級ライダーおよびヤマハ安全運転推進本部のインストラクターの指導のもと、中・高速時におけるバランス等の訓練を通じて確かなライディング技術を身につけていただくことを目的に開講されたものです。午前10時半より開講のサーキットランコースの主なカリキュラムは、昼食をはさんで午



早くも定員を上回る 受講希望者が殺到!

さて、この7月からスタートしたサーキットランコースですが、今年10月までの4ヶ月間に7回の講習が組まれています。1回の定員は50名。第1回目の7月11日は、梅雨が明けきらずあいにくの雨の中で行われました。しかし、それにもかかわらず受講希望者は殺到。50名をはるかに上回る90名が申込み、定員からはみ出た40名は次回の開催を持つほどの大好評。

この日のインストラクターは、ヤマハ安全運転推進本部の6名と国際A級ライダーとしておなじみの上野慎一、平忠彦両選手の8名。一方の受講者も、ツーリング仲間あり、仕事の同僚あり、販売店主さんとお客さまのグループあり、ご夫婦ありと、多彩な顔ぶれを見せていました。

「本格的なサーキットを走ったのは初めて」、「いかにこれまでの乗り方が危険であるかと思いが知らされた」、「高速になればなるほど自分の腕の未熟さを痛感した」とは受講後の参加者の印象。参加記念ステッカーとTシャツを手に、再チャレンジの抱負を語るライダーの姿がことのほか印象的でした。

なお、サーキットランコースの今後の予定は、8月22日、9月19日、26日、10月3日、17日(いずれも日曜日)。詳細は、主催するヤマハ安全運転推進本部・関東地方本部(ヤマハ発動機株東京支店内)までお問合せのこと。



Yamaha Topics

ヤマハニュースは販売店みなさまの情報誌です。

お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——

〒438 静岡県静岡市新井
2500 ヤマハ発動機株式会社
重伝部重伝一課
「ヤマハニュース」係
☎05383(2)1111 内線356

ヤマハも協力して撮影快調！ 角川・東映映画『汚れた英雄』

モーターサイクル小説の名作・大藪春彦の『汚れた英雄』の映画化が角川・東映の提携のもとに快調に進められています。

83年のお正月作品として話題を集めるこの作品は、バイクマニアの青年がロードレースライダーとして世界制覇を成し遂げるまでをヒロイックに描いたもので、主人公には草

刈正雄（写真）が扮し、勝野洋、木の実ナナ、浅野温子らが共演します。そして、この映画化にはヤマハも全面協力。8月28日、29日の両日、スポーツランドSUGOで行なわれる全日本ロードレース第8戦でレースシーンの撮影が行なわれるほか、翌30日（雨天順延）には、『汚れた英雄』撮影とラスト・サマーフェステ



イバルと題し、映画撮影と出演者全員が登場しての特別ショーも開かれることになっていきます。

われらヤマハ協力会 「ご覧ください」の走り！

緑あふれる田園風景の中、サリアンで快適なツーリングを楽しむ一行は、ヤマハの協力工場で結成する「ヤマハ協力会」のみなさん。

「夏商戦に奮闘中の販売店みなさんに少しでも協力しよう。そして日頃、手がけたヤマハスクーターの走りのよさをPRしよう」とヤマハ・スクーターのデモンストレーションをかねて、このツーリング大会を企画されたもの。

静岡県浜松市から県境を越えて愛知県の鳳来町まで約140kmを、ゆつくりと1日かけて走り抜いたものですが、ベルギー2台、サリアン10

お客さまとおそいいで、この夏最後のビッグイベントにお出かけになりませんか？



人気のオフロード・ライディングスクール 指導員めざして 特訓！ SLMAN

〔ヤマハ発動機東京支店〕需要創造活動のニューフェイスとして、この春からスタートしたオフロード・ライディングスクールは各地で大好評を集め、早くも販売店さんの独自開催が軌道に乗つつあるほどの勢いです。

そこで、そんな販売店さんの自主開催をサポートできるインストラク

MOTOR SPORTS HIGHLIGHT

世界選手権モトクロスシリーズ
D・ラポルテ
250cc級
期待の首位へ！



7月4日のオランダGPで全12戦中の8戦を終了した250ccシリーズで、YZM250を駆るアメリカのダニー・ラポルテ（写真）が両ヒート1位の完全優勝を達成。ランキング争いでもライバルのG・ジョベに6ポイントの差をつけて期待の首位進出を果した。

第6戦以来好調の波に乗るラポルテだけに、残る4戦に、GP初挑戦初タイトルへの期待が集まっている。一方、7月11日の西ドイツGPで9戦を終えた125ccシリーズでは、M・バルケニアスが第4位。また、あと2戦を残すのみとなった500cc級でもN・ハドソンが3位の座をキープしている。

ロバーツ、シーン ヤマハコンビ同点2位

注目の世界選手権ロードレースシリーズ500cc級も、7月18日のユーゴスラビアGPで8戦を終了。タイトル決定まで4戦を残すのみとなった。

このうちヤマハ勢は、エースK・ロバーツとバリー・シーンが同じ68ポイントで2位の座をキープ、G・クロスピーが4位と健闘をつけている。特にバリー・シーンは、今シーズン第5戦イタリアGPのリタイア



●お客さまの意識と行動の変化●業界の動向●バイクをとりまく社会の動き●



ターにと、6月10日、11日の両日は、東京支店管内のSLマン25名が、SLランド長野に集結。大月信和特

販売店さん主催の「MINI YRS」 北海道でもスタート

〔北海道ヤマハ札幌営業所〕販売店さん主催による「MINI YRS」の模様は、今号の特集ページにもご紹介しましたが、ここ札幌でも地元の販売店・シーバックス札幌（加我稔店長）さんがヤマハ安全運転推進本部北海道地方本部の協力のもとに、道央ドライブインクスクールで開催

別インストラクターの指導のもと座学に実技に2日間みっちり、と取り組んでいました。

大きな反響を呼んでいます。50ccバイク5名を含む26台が参加した、このMINI YRSには、北海道警察のヤング交通安全指導班のメンバーや白バイ隊員も特別参加。技術指導に課題別審査に、参加したライダーと一緒に汗を流していました。



光安、藤のヤマハコンゴも 2位をキープ

全日本選手権モトクロスシリーズも、7月10日、11月の第7戦札幌大会で中盤戦を終了。8月ひと月のインターバルをおいて9月、10月の2ヵ月間の残る4戦にすべてを賭けることとなった。7戦までのランキングでは、125ccクラスに藤秀信が、首位に19点差の2位。250ccでも光安鉄美が33点差の2位をキープ。残る8ヒートに大逆転への期待を集めている。

高張力の炭素鋼鋼管 ヤマ発が新日鉄と開発 フレームに採用

〔日刊工業新聞 6月21日〕

ヤマハ発動機は新日本製鉄の協力を得て引張り強度が従来の約1.5倍という新タイプの高張力鋼管を開発。七月から同鋼管を二輪車のフレームに本格採用する。同社では車体の軽量化と燃費削減の観点から、新車開発から採用をはじめ、近い将来、全面採用に切り替える方針（根本文夫専務）としている。

（中略）材種は炭素鋼だが、脱ガス処理に配慮し、精度をあげることで強度（強度、コスト、加工性などのネットワーク）解決したもので、電縫加工が容易になったのも大きな特徴。「STKMH50」と「STKMT060」の二品種があり、引張り強さ（一平方センチ）は、従来の「STKM13A」（機械構造用炭素鋼鋼管）が38kg以上であったのに対し、「STKMH50」は50kg以上、同60が60

kg以上（いずれも溶接のまま）となっている。

ヤマハ発動機では、この鋼管を採用したフレーム生産について、プレス加工を中心の一連の加工技術を確認したという。また強度が従来比1.5倍となるため、その分パイプ径を小さくすると、肉厚を薄くできるメリットがあり、三分の一程度の軽量化が期待できる。同社では七月からオフロード系、ストリート系、ファミリー系の各車種で採用に踏み切る。

「あら、まあ」ガチャン 女性ライダー事故 4つのタイプ

〔日本経済 6月14日〕

今、全国を走り回っている五〇ccバイクは約一千万台にのぼるといふ。ファミリーバイク、スクーターなど新機種も続々お目見えし、ハンドルを握る女性もうなぎ登りの増えようだ。それにつれて事故も急増、とくに死者の増加が著しく、総理府交通対策本部ではこのほど安全指導強化

に乗り出した。女性ライダーの事故は出合い頭に「あら、まあ」ガチャンとやってしまう。あら、まあ事故が多い。よくある例をタイプ別に分析してみると。

「運動未熟型」あわてて急ブレーキをかけバランスを崩して転倒する。また、アクセルを絞るべきところを逆に吹かして暴走する。さらにひどいケースになると、衝突しそうなにつてびつくりして声を出しただけでブレーキ操作を忘れ、乗用車に追突したお粗末なドライバーも。女性ライダーの事故には出合い頭のものが多いが、そんな未熟さにはちばんの原因がありそう。

「期待過剰型」女性が運転中の事故には、交差点内のものが目につく。中でも多いのが右折時だ。対向車との距離の目測を誤ったり、タイミングは合っていないものんびり出ていって衝突する。どうやら、対向車に先を譲ってもらいたいという、過剰な期待をしている心理がひそんでいるようだ。

「実力過信型」女性の起こすバイク事故には、自分の運転技術に過大な自信を持つタイプがひとつある。

「自己中心型」傍若無人な「我が道を行く」運転ぶりで、周りのドライバーや歩行者のひんしゆくを買っている女性ライダーも少なくない。走行中に後方確認をろくにせず、右や左に急に車線を変える。時には後続の車がよけきれず、ファミリーバイクをひっかけしてしまうケースもある。

ストップ・ザ二輪車事故 公開セミナー10日に 元暴走族も参加 運転者心理にメス

〔読売新聞 7月2日〕

激増している交通事故死の背景にヤングの二輪車事故急増があることを重視した警視庁交通部は、七月十日、交通問題の専門家を集めた「二輪車事故防止公開セミナー」を開くことになった。

「オートバイと若者たち」をテーマに二輪車事故の実例を取り上げ、

事故を起こした若者たちの心理的要因や、二輪車の構造的欠陥などに科学的なメスを入れようという全国初の試みで、パネルディスカッションには元暴走族のリーダーらも出席する。警視庁は、このセミナーを地域や交通関係団体の「ミニ・セミナー」のモデルにし、都民ぐるみの安全運動を展開したいとしている。

（中略）警視庁は、「若者たちがなぜ暴走するのか」、「二輪車の事故原因はどこにあるのか」など、これまでの取締り・検査だけでなく、オートバイライダーの心理状態に科学的メスを入れることが必要と判断。公開セミナーの実施に踏み切った。

セミナーは、十日午後二時から四時まで、東京・大手町の農協ホールで、下稲葉警視總監らが出席して開かれるが、パネルディスカッションの司会役は交通評論家の生内玲子氏。パネラーには、江守一郎・成蹊大工学部教授、越正毅・東大生産技術研究所教授、大塚博保・警察庁科学警察研究所交通安全研究室長ら交通問題の専門家と、オートバイ運転の「プロ」、警視庁第二交通機動隊員や元暴走族リーダーらが参加する。



気分さわやか! SUGOでリフレッシュ!!

'82 サマーフェスティバル イン SUGO



★ビッグイベントぞくぞく開催

8月19日～22日

ヤマハSUGOカップ・セイコースーパーテニス国内予選大会

8月22日

ロックンロール・オリンピック'82

8月28日～29日

全日本選手権ロードレース第8戦

ときにはお仕事を離れて、ゆつくりくつろがれてはいかがですか。SUGOの自然はあなたを充分にリフレッシュさせること間違いなし。さわやかな気分をとりもどしたところで明日へのパワーを充電してください。

スポーツサウンド、レースのビッグイベントが続々開催!

もうお乗りになりましたか?—へみちのく新幹線に。SUGOがぐっと近づいたのです。大宮⇄仙台間が、なんと1時間59分。ご家族そろっての夏休み旅行や、お客さまと一緒にの親睦旅行が、いままでも以上に便利になったことはいまでもありません。

それはともかく、8月のSUGOには、特別イベントがいっぱいです。たとえば、8月19日から22日にかけて開催される「ヤマハSUGOカップ・セイコースーパーテニス国内予選大会」には、わが国テニス界のスーパースターが勢揃い。テレビでは味わえない迫力プレイの数々が楽しめます。

また、8月22日は、もうSUGOでは恒例のロックンロールイベント「ロックンロール・オリンピック'82」が開催。SP広場にこだまするビートのきいたロックのリズムは、1万人の観客を魅了します。

そして、8月最後のビッグイベントとして控えているのが、8月28、29日に行なわれる

スポーツイベントSUGO

〒989-14 宮城県柴田郡村田町養生
022483-3111

■SUGO仙台営業所
〒983 仙台市一番町4-1 福田ビルF
0222-66-8400-14

■SUGO東京営業所
〒105 東京都港区東新橋1-1-2 秀和新橋ビル3F
03-574-8021

- 東北新幹線開通記念「鉄道博覧会」(8月22日回まで)
バーベキューまつり(8月22日回まで)
トロピカルフェア(8月22日回まで)
ウェディングカーニバル(8月22日回まで)
ステーキ(8月22日回まで)
プールカーテン(8月31日回まで)
キャンプ村(9月5日回まで)
SUGOいも煮会(9月1日回から11月14日回まで)
8月
- ↑(回)
アニメ・フェスティバル
ファミリートニテ教室
SUGOサマーモトリング
82SUGOサマーフェスティバル・モトクロス
82SUGOサマーフェスティバル・トライアル
S'LMニロード第4戦
カイトライセンスクール
夏休み自然教室(56回)
セタテニスツアー(18回) ☆
SUGO夏の宴(15回)
SUGO夏の宴(15回)
SLトライデューロ第2戦
ヤマハライディングスクール(17回)
ヤマハライディングスクール(19回) ●

「全日本選手権ロードレース第8戦」。わが国トップライダーの華麗なテクニクとスピードは、バイクファンには見逃せないイベントです。

そのほか、SUGOでは8月いっぱいまでブルーガーデンがオープン。キャンプ村はさらに9月5日まで営業しており、楽しみはいっぱい。「鉄道博覧会」も好評につき会期も8月22日まで延長となるなど、賑わいを見せています。

お忙しいご商売の中でのひととき、ぜひSUGOへお出でいただき、これらのイベントを楽しみ、秋商戦に向けた新鮮なアイデアの数を、ご創造ください。



- ※イベントについての詳細は、スポーツランドSUGO営業課または仙台・東京の各営業所までお問合せください。なお、☆○の各イベントは以下の窓口で申込み受け付けを行っております。●ヤマハ発動機株式会社運転推進本部(053-833-2111) ☆SUGO東京営業所(03-574-8021) ☆SUGO仙台営業所(0222-66-8400) ●ヤマハ発動機(株)仙台支店(0222-981481) ●SUGOテニスクラブ(0222-2483-3121)
- 19(休) ヤマハSUGOカップ'82セイコースーパーテニス国内予選大会(122回) ●
22(日) ジョイフルテニスクール(125回) ●
23(月) ロックンロール・オリンピック'82
24(火) ヤマハライディングスクール(124回) ●
25(水) ヤマハライディングスクール(124回) ●
28(土) 全日本選手権ロードレース第8戦(129回) ○
8月
- ↑(回)
SUGOいも煮会オープン(11月14日)
企業対抗テニストーナメント★
SUGO記録会
ヤマハライディングスクール(17回) ●
ヤマハライディングスクール(17回) ●
園遊会(長月の宴)
ヤマハライディングスクール(19回)
第3回SUGO音楽ステージ
S'LMニロード第5戦
SLモトクロス第5戦
ロードライセンスクール
カイトライセンスクール
ヤマハライディングスクール ●
敬老民謡まつり
敬老の日ゲートボール大会
第3回ヤマハ杯宮城県サッカー少年団選手権大会
日本フェニクス第4戦
日本フェニクス第4戦
SLトライデューロ第4戦
ロードテクニカルライディングスクール
SLニロード第4戦
ヤマハライディングスクール(124回) ●
ヤマハライディングスクール(126回) ●
家族そろってオリエンテERING
MFJモトクロス東北選手権12戦
SLカイトレース第4戦
SLトライアル第5戦



YAMAHA WEAR 1982 FALL & WINTER

品ぞろえ
お早目に!

9月中旬発売予定

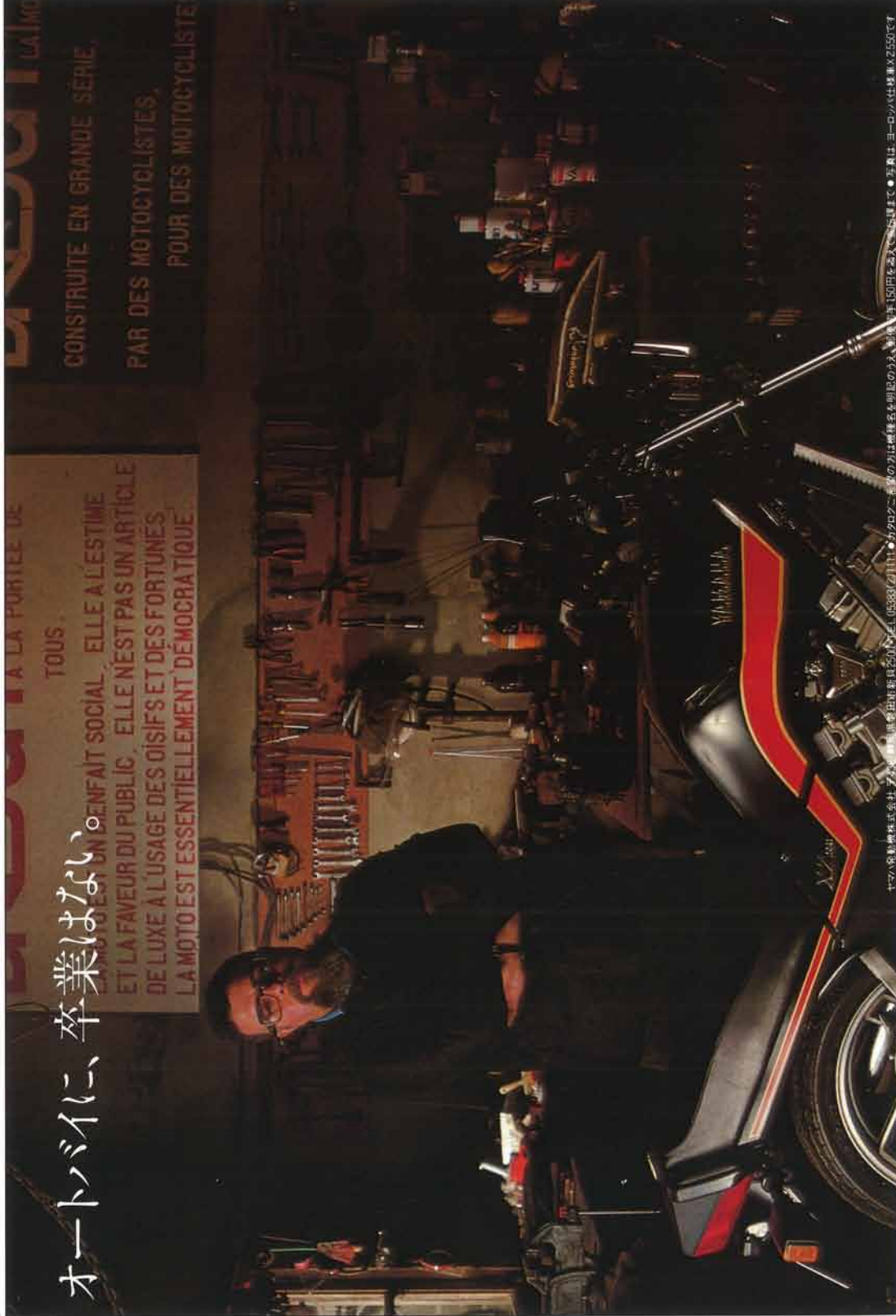
スポーツの秋、行楽の秋に向けて、店内演出一新の準備や、用品類の品ぞろえは順調に進んでいますか？人気のヤマハウエアに、この秋からチームヤマハシリーズが新登場します。どうぞご期待ください。



オートバイに、卒業はない。

TOUS,
 A LA PORTEE DE
 UN ENFANT SOCIAL, ELLE A L'ESTIME
 ET LA FAVEUR DU PUBLIC, ELLE N'EST PAS UN ARTICLE
 DE LUXE A L'USAGE DES OISIFS ET DES FORTUNES.
 LA MOTO EST ESSENTIELLEMENT DEMOCRATIQUE

CONSTRUITE EN GRANDE SERIE,
 PAR DES MOTOCYCLISTES,
 POUR DES MOTOCYCLISTES.



ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 電話05383(2)1111 内線356

A REEK FOR
55mph



さしあげます。
オートバイを愛したための一冊。
 昨年好評を博した「55mph」の第2弾。題して「モーターサイクル・ユートピア」。ロンドン、パリなどの現地取材。オートバイ70Pb式。片岡義男のオートバイ小説。エッセイ等の記事を掲載。昨年よりページ数も倍増。表裏の84ページです。お申し込みは、切手500円分を同封して下記まで。あて先：〒104-91 東京都葛飾区私鉄箱3号(S)ヤマハ55mph係

YAMAHA
 ヘルメットを正しくお直しし、点検整備を怠らずに、安全のため改造はやめましょう。

人間にいちばん近い乗りものなんだ。

YAMAHA SPORTS BIKE XL400

水Vエンジン・DOHC・1バルブ・V.L.C.S.滑靴、ハイインジェクションの基盤。2バルブ・Vライン・XZ400。そのサイズをコンパクトにまとめた。3バルブ・Vライン・XZ400。そのサイズをコンパクトにまとめた。3バルブ・Vライン・XZ400。そのサイズをコンパクトにまとめた。



僕のじいさんも、そして親父も、オートバイに夢中だった。彼らは息子を可愛がるのと同じように、オートバイにも愛情を注いだわけだ。そして僕はこの歳になって、やっぱりオートバイから卒業できない。フランスで、40歳に近い紳士は朝しそうにそう語ってくれた。オートバイが生まれ育ったヨーロッパでは、彼のような人間に至るところまで見ることができ。そこには、老若の差は(そして男女の差も)ない。みんな、実に陽気だ。そして、子供のようにイキイキとしている。彼らにとつて、オートバイはかけがえのない友人。人間はこの友人と出会うことで、人生の楽しみをひとつ増やすことができるのだ。

[広告活動ご紹介](#)

一般誌、男性誌を通じて先月からスタートした、スポーツバイク・マス広告キャンペーンの第2弾です。同時発行の「55mph」Vol.11も大好評。お店でも、夏のスポーツバイク商戦の盛りあげに、どうぞご活用ください。